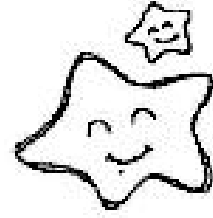


QSK にぬふあぶし

No.324

ね
子の方向の星(北極星)



新春もちつき会がありました

年明け1月5日(金)、南風原町『てるしのワークセンター』の敷地内にて、新春もちつき会を行ないました。他の多くのイベントと同様、コロナ禍のあいだは見送られてきて数年ぶりの開催となった今年、関係各所のみなさまにもお声かけして一緒に新年の喜びを分かち合いました。

南風原町社協さんからお借りした杵と臼を使って、みんなでかわるがわるにもちつきで汗を流したあとは、出来たてのうちに、あんこやきなこやみたらして美味しい季節の味を満喫。

天気にも恵まれて、笑顔あふれる賑やかなもちつき会になりました。



就労支援事業所てるしのワークセンター

『2024南風原町の紙と織布おりぬののマルシェ』に参加しました！

去る1月6日(土)、南風原町商工会主催の『2024紙と織布はえばるちようのマルシェ』がパレットくもじ前広場で開催され、私たち『てるしのワークセンター』も出展した。

南風原町には、県内にある印刷会社の半数以上が占めており、また、琉球かすりや南風原花織はなおりなど織物の産地としても知られている。今回は紙と織布の町、南風原町の魅力をアピールする機会となった。



各印刷会社から無償で提供していただいた、廃棄の紙や資材の持ち帰りコーナー、ダンボールで作った迷路やテント等、子ども達が楽しめるブース、文房具や布製品のグッズショップなど大人から子どもまで多岐に楽しめるイベントとなった。

てるしのワークセンターでは、段ボールをノートや封筒にアップサイクルした紅型雑貨を販売した。同じ柄でもその時の染人の気持ちひとつで手染めしているため、同じ作品は作れず、『せかいにひとつ』だけの商品であると紹介し、来場者は興味津々で話を聞いてくれた。

目玉商品として、福袋で4000円相当の紅型雑貨商品を2024円で販売したところ飛ぶように売れ、多くの方が手に取り、知っていただける貴重な経験となった。

また、ワークショップでは紅型の切れ端を使い、オリジナルの表紙を作製し、『せかいにひとつ』だけのノート作りを行なった。子どもから大人まで、夢中になりながら切り貼りし、個性豊かな表紙に多数出会うことができ、私たちも驚きと新たな発見があった。ワークショップを通して、沖縄の伝統文化である紅型に触れ、身近に感じていただけるきっかけになったのではないかと感じる。

来場者からは、「次はいつありますか」との嬉しい声も上がり、大盛況で終える事ができた。

てるしのワークセンターでは、あなたのお気に入りの『せかいにひとつ』だけの作品に出会うことができるよう、今後も作品づくりに励んでいきたい。(岸本久美子)

『サポートセンターゆい』だより

～クリスマスパーティー&ゆいジョブ!忘年会～

12月は、いろいろな行事がありました。

ゆいでは、23日にクリスマスパーティーを開催!! 今回は、初めてプレゼント交換を行ないました。利用者さんと職員でプレゼントの買い出しをして、クリスマスパーティー当日は、ピザやマフィンを食べ、待ちに待ったプレゼント交換!!

「これ欲しかったー!!」や、「えー。これ持っているー」などいろんな反応が見られて、とても大盛り上がりで終わることが出来ました!! 今年もさまざまな行事を企画して、余暇活動の方も充実していきたいと思います。



18日には、南風原町で行なわれた『ゆいジョブ! 合同忘年会』に参加しました。(『ゆいジョブ!』は、働きたい希望を持っている障がいのある人と、企業などとの結びつきを促進する、ヤマト福祉財団主催の活動です)



ゆいジョブに参加している他事業所との交流や、楽しい余興と美味しい食事に、心も体も充実することが出来ました。主催者の皆様、素晴らしい機会を作って下さって本当にありがとうございました。【山城・仲】

バリアフリー関連会議に参加しています

1月12日(金)は、午前中に『那覇市バリアフリー推進協議会』、午後からは『首里城復元にかかるバリアフリー対応に関する意見交換』の集まりがあって、沖福連からは両方に山田会長が出席しました。

那覇市ではバスやモノレール、道路、公共の建物などについてバリアフリー化が進められています。案内サインの設置や道路の定期的な修繕といった物理的なものから、モノレール駅員のバリアフリー接遇向上といった内容まで多岐に渡ります。

また、2019年に火災で焼失した首里城については、2026年中に正殿の完成ができるよう復元に向けた取り組みが行なわれていますが、その各所についてバリアフリーの対応も話し合われています。

車いすを利用した場合の券売機の位置の高さ、多目的トイレのスライドドアの開く幅の広さ、各展示の多言語対応やふりがな、木陰のベンチや自動販売機の増設など、関係団体からさまざまな意見要望が寄せられて、それらへの対応状況についての確認が行なわれました。

定期的開催されているこうした会議は、多様な立場からのそれぞれの視点を知ることにもできる、意義深い時間であると感じます。



【寄付金／賛助会員加入のお願い】

沖福連では、精神保健福祉に関する知識や考え方の普及啓発、また福祉サービス事業などを通して、誰にとっても生きやすい社会づくりに取り組んでいます。

当会の活動は、みなさまからの賛助会費やご寄付によって支えられております。今後とも、あたたかいご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

賛助会年会費 個人1口：2千円 / 団体・法人1口：1万円

琉球銀行：南風原支店 普通口座 229887

ゆうちょ：02020-0-37037 (加入者名：公益社団法人沖縄県精神保健福祉会連合会)

※沖福連ホームページからクレジットカード決済もできます。

◎編集後記◎

昨年末だったか、小さなコーヒーミルをなりゆきで購入して以来、だいたい毎朝コーヒー豆を手で挽いて飲むようになった。挽きたてをいれるとやっぱりぜんぜん違う感じがして、一杯のコーヒーを味わう時間も少し特別なもの変わった気がする。そうするといろんな豆を試してみたくなるもので、カルティのやらコメダ珈琲のやら名を知られた地域の店のやらをあれこれガリガリ挽きまくってみるのだけれど、いまのところ村度なしにいちばん美味しかったのは、福祉事業所『ワーカーズホーム』で買った深煎りで、その感想が本物なのかどうか、また近いうちに飲んで確かめたいと思う。(増山)

編集：公益社団法人 沖縄県精神保健福祉会連合会

会長 山田 圭吾

〒901-1104

沖縄県島尻郡南風原町字宮平206-1

電話098-889-4011 FAX098-888-5655

E-mail terushino@castle.ocn.ne.jp

発行：九州障害者定期刊行物協会

〒812-0068

福岡市東区社領1丁目12番4号

電話092-753-9722 FAX092-753-9723

定価：10円(会費に含まれる)